

1. 平成27年度 授業についてのアンケート調査

(平成28年3月1日 現在)

(1) 山形講座授業科目一覧表

●はIRシステムUP済 ーはアンケートを取っていない分
数字(n)は 回答有効サンプル数

分野	開講大学	授業科目名	学生				関係者		教員		
			n	開始時	終了時1	終了時2	n	終了時	n	終了時	
前期	全体	山形大学	-	-	-	17	●	-	-	-	
		東北公益文科大学	-	-	-	23	●	-	-	-	
	山形フィールドワーク	山形大学	感じる山形5	19	●	●	20	●	13	●	
			最上川から山形を学ぶ	10	●	●	12	●	-	●	
	山形プロジェクト	山形大学	課題解決入門	4	●	●	4	●	1	●	
			木の根坂集落で課題解決演習	6	●	●	6	●	3	●	
			地域デザインin東沢バラ公園	8	●	●	8	●	2	●	
			大蔵地区地域資源の活かし方	2	●	●	2	●	1	●	
			Jリーグと地域社会	12	●	●	10	●	-	●	
			山形を元気にする企業家に学ぶ	6	●	●	9	●	8	●	
		東北公益文科大学	坂野辺新田に農家カフェを設計する	-	-	-	-	-	-	-	
	東北文科大学短期大学部	地域と経済	※開講中止								
	山形起業	東北芸術工科大学	起業論	32	●	●	35	●	-	-	
			起業演習	8	●	●	9	●	-	-	
東北公益文科大学		アントレプレナーシップ論a	4	●	●	4	●	-	●		
リーダーシップ	山形大学	リーダーシップ論入門1	31	●	●	33	●	5	●		
		リーダーシップ論入門2	13	●	●	19	●	3	●		
回答有効サンプル数 前期合計			155			211			36		
後期	山形フィールドワーク	山形大学	感じる山形6	13	●	●	14	●	1	●	
	山形プロジェクト	山形大学	課題解決入門	6	●	●	6	●	-	●	
			実践的コミュニケーション学	12	●	●	13	●	1	●	
	山形起業	東北文科大学	地域作りとその手法	※開講中止							
			ボランティア活動	7	●	●	7	●	2	●	
		東北芸術工科大学	起業家ビジネス論	14	●	●	17	●	-	-	
			起業家ビジネス演習	9	●	●	9	●	-	-	
		東北公益文科大学	アントレプレナーシップ論b	5	●	●	5	●	1	●	
	リーダーシップ	山形大学	社会起業家論	7	●	●	7	●	-	-	
			リーダーシップ論応用1	13	●	●	14	●	4	●	
			リーダーシップ論応用2	6	●	●	6	●	-	●	
回答有効サンプル数 後期合計			92			98			9		
回答有効サンプル数 前期+後期 合計			247			309			45		

(2) 山形講座全体での評価状況

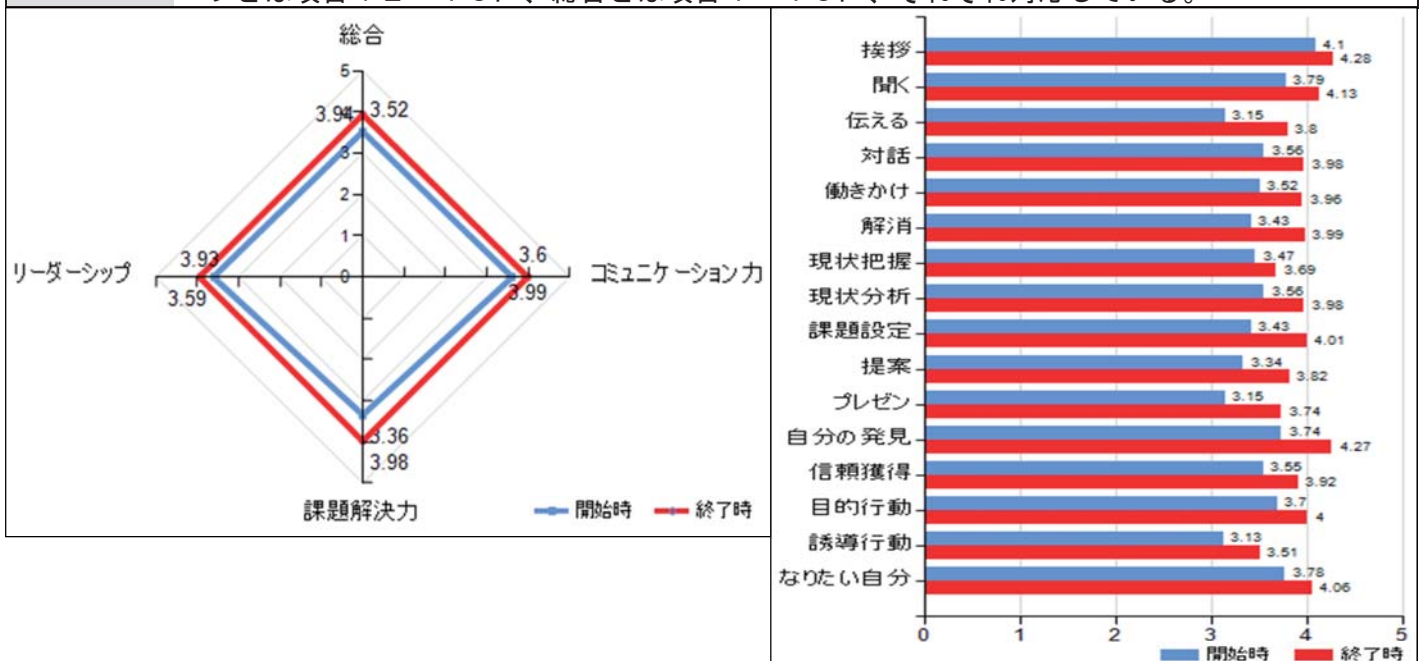
① 社会人力評価

ねらい：受講生の、授業による社会人力関連項目の影響度を把握する。

対象データ：①アンケート1（授業開始時）の 1
②アンケート2（授業終了時）の 1

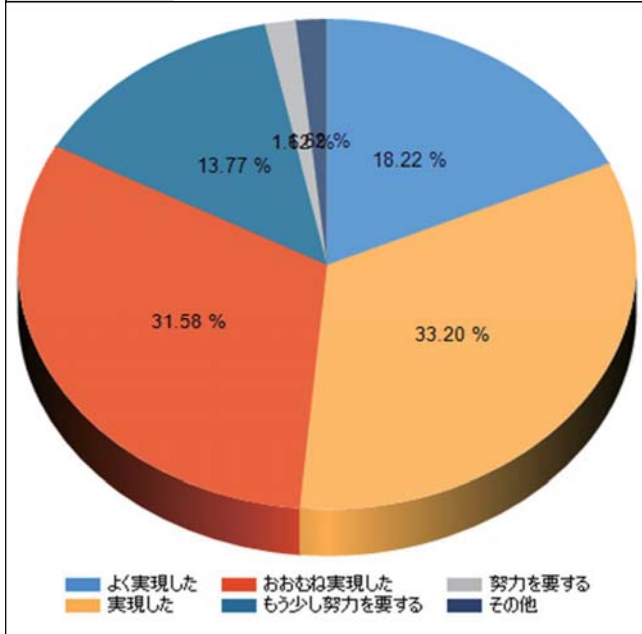
図表の内容：①アンケート1の項目1～16及びアンケート2の項目1～16の回答について、山形講座受講生全体（以下「山形講座」という。）の平均値を示す。

②コミュニケーション力とは項目1～6に、課題解決力とは項目7～11に、リーダーシップとは項目12～16に、総合とは項目1～16に、それぞれ対応している。

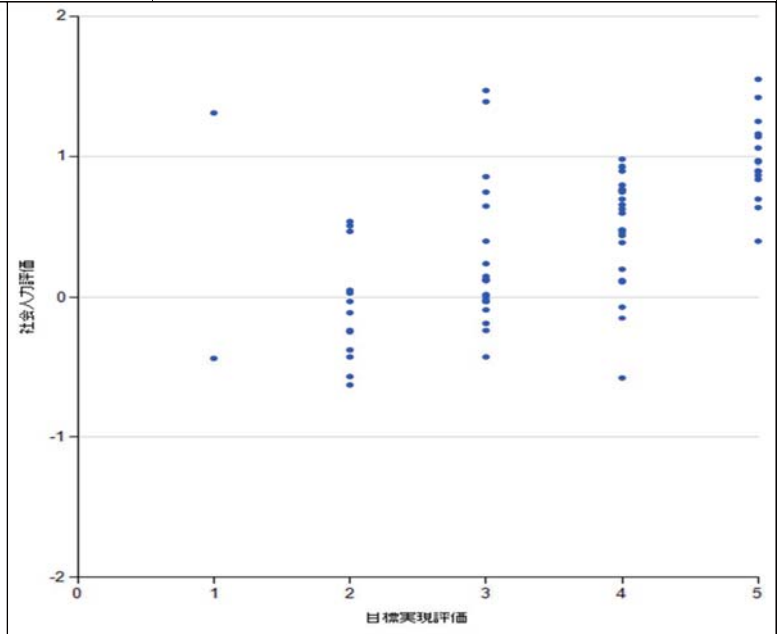


②目標実現度評価

(左)
 ねらい：社会人力に関わる履修目標の実現度を把握する。
 対象データ：アンケート2（授業終了時）の [2]（上段）
 図表の内容：授業開始時に設定した社会人力に関わる履修目標の実現度の回答について、山形講座の累計を%で示す。

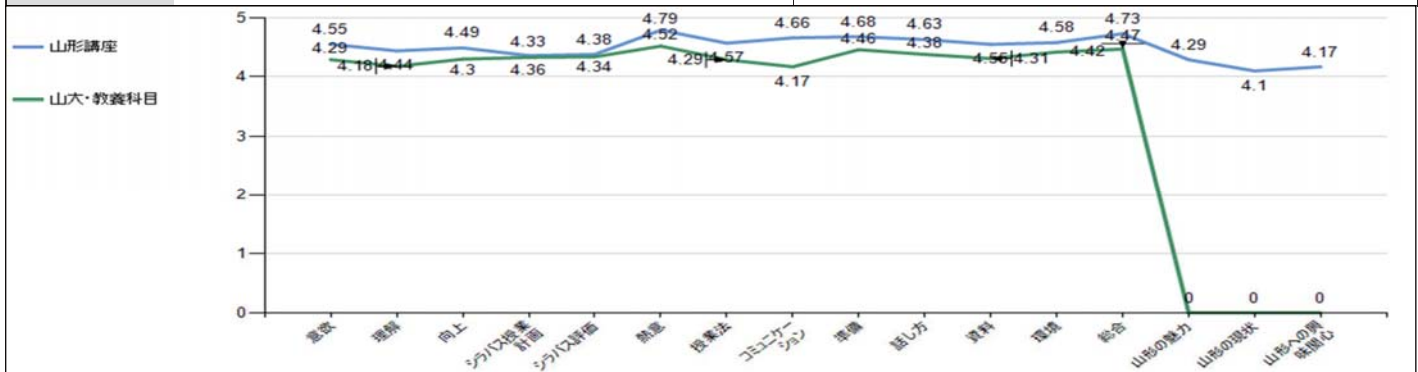


(右)
 履修目標実現度と社会人力評価（総合）の関係を把握する。
 ①アンケート2（授業終了時）の [2]（上段）
 ②社会人力評価関連データ
 横軸の社会人力の履修目標実現度に対応する、社会人力評価（総合）の差（終了時－開始時）を縦軸にして示すとどうなるかを、山形講座についてプロットで示す。

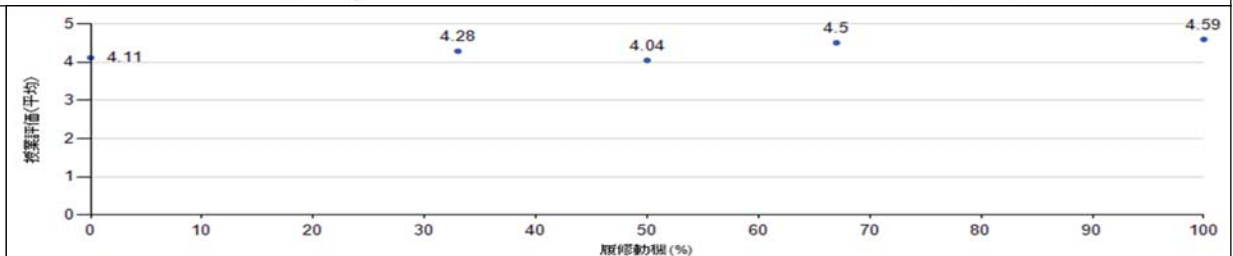


③授業評価

(上)
 ねらい：山形講座の授業評価と山形大学教養科目の授業評価を比較する。
 対象データ：①アンケート3（授業終了時）の [2]
 ②山形大学基盤教育授業アンケート結果（平成25年度）
 図表の内容：アンケート3の [2] の回答について、項目ごとに山形講座の平均値を示し、併せて、同じ項目の山形大学教養科目の数値を示す。



(下)
 山形講座の授業評価と履修動機との関係を把握する。
 ①アンケート3（授業終了時）の [2]
 ②アンケート3（授業終了時）の [1]
 ①横軸の履修動機について履修動機の回答欄のうち1、4、5を積極的履修動機として、回答したものが、これらすべての場合を100%、二つ選択の場合を66%、一つ選択の場合を31%、選択されていない場合を0%とする。
 ②縦軸を授業評価の総平均値とする。
 ③履修動機が100%を示した受講生の授業評価の総平均値の平均値を示す。それ以外の場合も同様に示す。

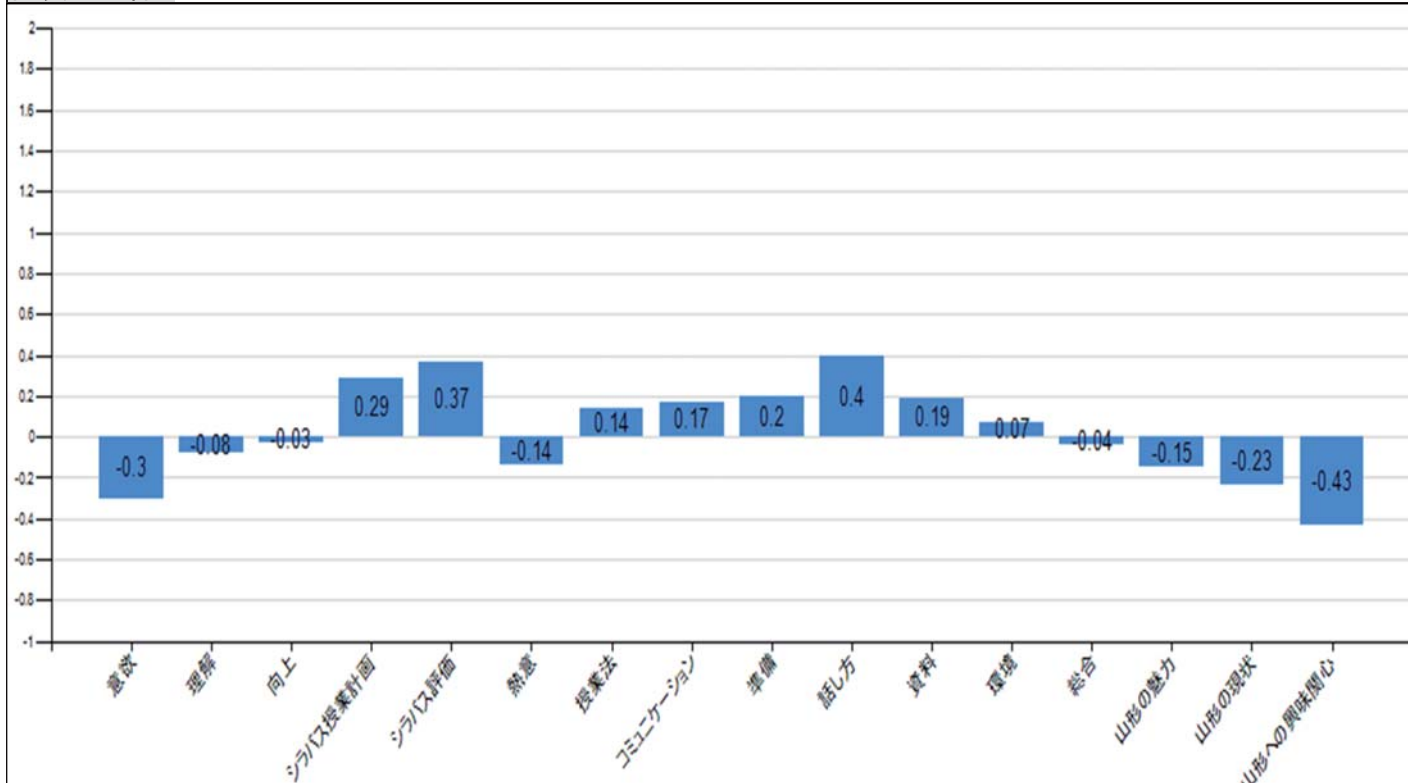


④教員評価—学生と教員の授業評価の相違—

ねらい：学生と教員の授業評価の相違を把握する。

対象データ：①アンケート3（授業終了時）の 2
 ②アンケート4（授業終了時）の 1

図表の内容：山形講座の授業評価の平均値と教員全体の授業評価の平均値との差を、各項目別に示す。

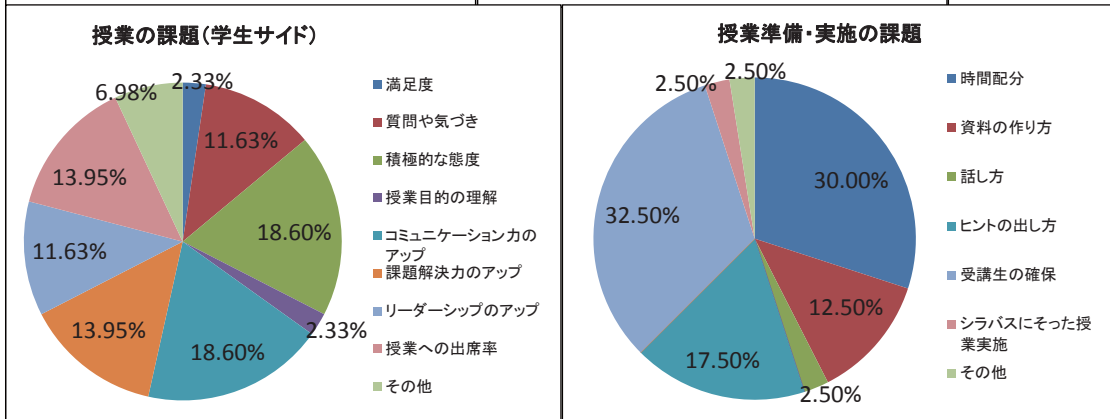
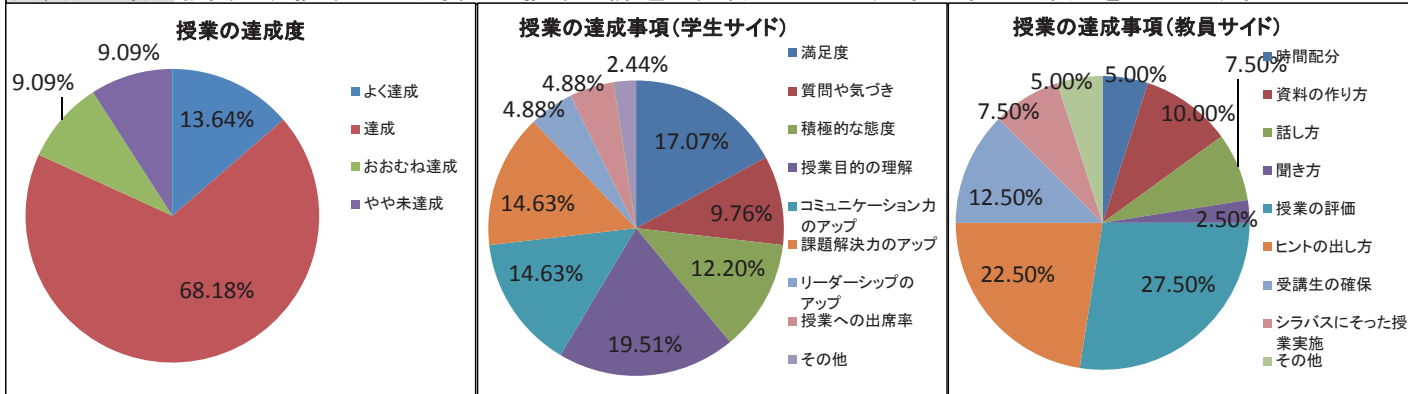


⑤教員評価—授業の達成度（1）～授業の課題（2）—

ねらい：教員の授業評価を把握する。

対象データ：アンケート4（授業終了時）の 2 と 3

図表の内容：教員の、授業の達成度及び授業の課題の回答について、それぞれの累計を%で示す。

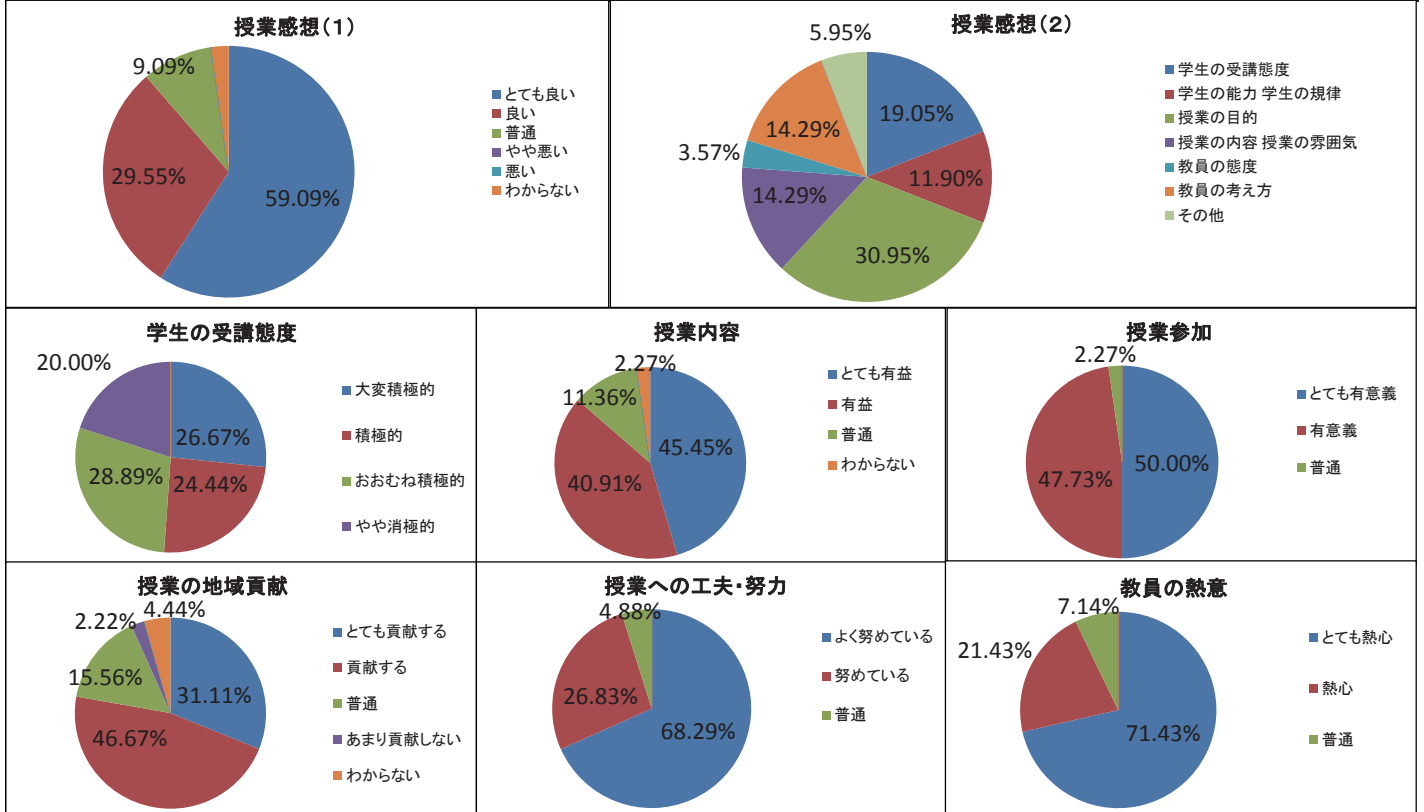


⑥関係者評価—授業感想（1）～授業評価（6）—

ねらい：授業関係者の授業評価を把握する。

対象データ：アンケート5（授業終了時）の1と2

図表の内容：教員の、授業の達成度及び授業の課題の回答について、それぞれの累計を%で示す。



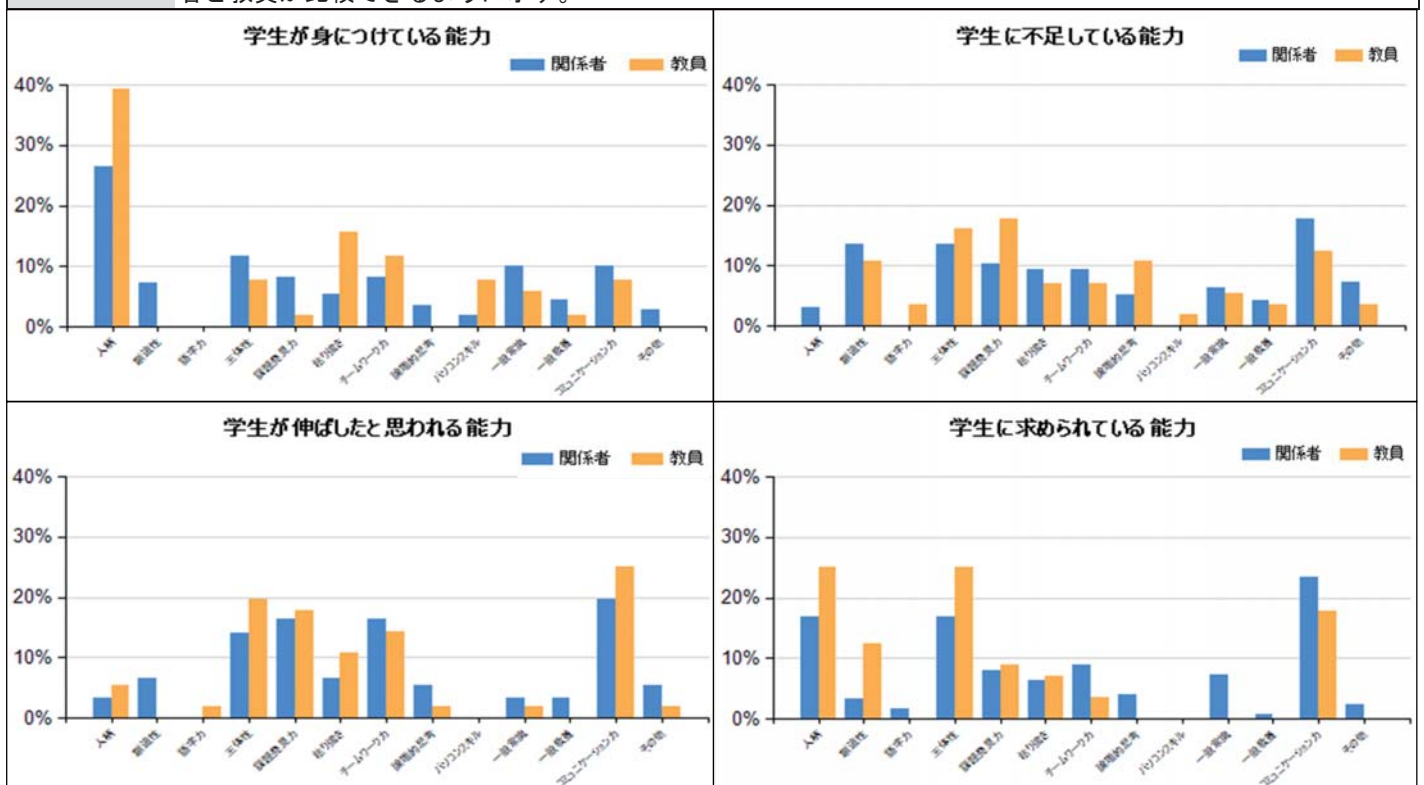
⑦学生の能力—学生が身につけている能力～学生に求められている能力—

ねらい：学生の能力について、授業関係者と教員の評価を比較し、把握する。

対象データ：アンケート4（授業終了時）の4

対象データ：アンケート5（授業終了時）の3

図表の内容：関係者の、区分（身につけている、不足している、伸ばした、求められているの4区分）ごとの学生の能力に関する回答について%で示す。同様に、教員についても%で示す。その二つの%を同一項目について関係者と教員が比較できるように示す。

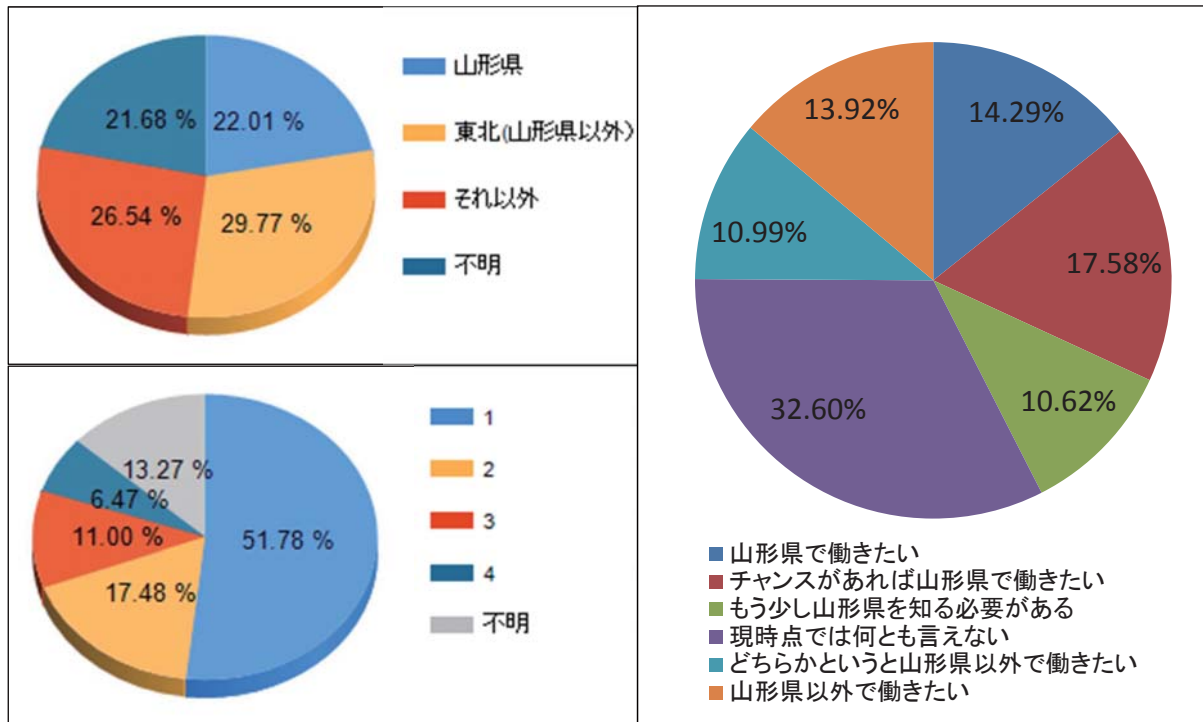


⑧山形県の地域社会で働くこと

ねらい：受講生の就労意識について把握する。

対象データ：アンケート2（授業終了時）の③

図表の内容：受講生の回答について、それぞれの累計を人で示す。



	働きたい	チャンスがあれば働きたい	もう少し山形県を知る必要がある	現時点では何とも言えない	どちらかという山形県以外で働きたい	山形県では働きたくない	不明
山形県	36	17	3	14	6	4	80
東北(山形県以外)	1	20	13	35	14	17	100
それ以外	2	11	13	40	10	17	93
合計	39	48	29	89	30	38	273